


別記第1号様式 (第6条関係)

倫理審査申請書

2025年10月27日提出

伊勢赤十字病院
倫理委員会倫理委員長 殿

申請者 佐藤啓太 
所属 外科
職名 医師

受付番号 ER 2025-114 (※事務局で記入)

所属長の印 

1 審査対象	*何れかに○を付けてください。
1) 実施計画	
2) <input checked="" type="radio"/> 出版・公表予定原稿	(発表予定日 2025年12月23日)
2 課題名	*未定の場合も「～(仮)」として記載ください。
Massive Hemothorax Following Thoracic Vertebral Fractures: Clinical characteristics and the Potential Impact of Diffuse Idiopathic Skeletal Hyperostosis.	
3 主任医療行為者名	氏名: 佐藤啓太 所属: 外科 職名: 医師
4 分担医療行為者名	氏名: 所属: 職名:
5 医療行為等の概要	*研究の内容についてご記載ください。
椎体骨折に伴う血胸症例の解析と DISHとの関連性について	
6 医療行為等の対象及び実施場所	*研究対象者・データ等についてご記載ください。
本文中 Method 参照	

注意事項 審査対象となる実施計画書又は出版公表原稿のコピーを添付して下さい。

審査対象欄は、非該当部分を消して下さい。

7 医療行為における医学倫理的配慮について（I～VIは必ず記載のこと）

I 医療行為の対象となる個人の人権の擁護

〈~~倫理的配慮~~の抽出のみを医師にて

II 医療行為の対象となる者に理解を求め同意を得る方法

※いずれかを○で囲んでください。

① オプトアウト

② 書面による同意

*同意書のひな型を添付ください。

③ その他（ ）

III 医療行為により生じる個人への不利益並びに危険性

なし

IV 予測される医学上の貢献

DISH + 血胸を起す症例のリスクとすることが
疫学的に証明される。

V その他（研究期間、症例数等） *未定の場合は見込みを記入すること

研究期間： 2022 - 2023

症例数等： 147

1 患者への侵襲がなく、個人が特定されることのない方法で実施される研究については、病院HP上で研究名を公知し、研究への不参加の意思を病院あてに通知する窓口が整備されていることをもって、患者から同意を得たこととする制度

別記第1号様式(第6条関係)

倫理審査申請書

2025年10月17日提出

伊勢赤十字病院

倫理委員会倫理委員長 殿

申請者 河西 香織



所属 看護部 内視鏡室

職名 看護師

受付番号 EP2025-117 (※事務局で記入)

所属長の印



1 審査対象
1) 実施計画
② 出版・公表予定原稿 (発表予定日: 2026年5月8日)
2 課題名 腸管洗浄剤自宅内服説明の現状と課題 ～患者説明に質問用紙を使用して～
3 主任医療行為者名 氏名: 河西 香織 所属: 看護部 内視鏡室 職名: 看護師
4 分担医療行為者名 氏名: 上村 明里 所属: 看護部 内視鏡室 職名: 看護師
5 医療行為等の概要 2018年より腸管洗浄剤の自宅内服を行い、2023年11月より腸管洗浄剤内服患者に検査当日に電話確認を行っている。モビプレップ®は高張液のため取り扱いが複雑で、自宅での下剤内服説明に加え、過去の大腸内視鏡回数や、自宅下剤内服の有無、電話確認の番号の聞き取りなどにかかる時間は20分以上であり、他の業務に支障を来していた。そこで2024年12月より自宅下剤内服患者に関する質問用紙を作成し、説明時間の短縮を試みている。今回この質問用紙を用いた説明が有効であったか検証する。
6 医療行為等の対象及び実施場所 当院内視鏡室で2024年8月から2025年9月まで自宅下剤内服説明を受けた患者521名のうち説明時間の記載がある345名に対し質問用紙使用前と質問用紙使用後の下剤内服説明時間の比較検討を行った。また、説明を行った看護師8名にアンケート調査を行った。

注意事項 審査対象となる実施計画書又は出版公表原稿のコピーを添付して下さい。

7 医療行為における医学倫理的配慮について（I～Vは必ず記載のこと）

I 医療行為の対象となる個人の人権の擁護

電子カルテより情報収集し、データは統計学的に処理を行い個人が特定されないよう十分配慮する。また、研究終了後には紙媒体のデータは破棄し、情報の流出を防止する。

II 医療行為の対象となる者に理解を求め同意を得る方法

① オプトアウト

② 書面による同意

③ その他（ ）

III 医療行為により生じる個人への不利益並びに危険性

アンケートやカルテより情報を収集するため不利益並びに危険性は生じない

IV 予測される医学上の貢献

1. 質問用紙を使用することで、自宅内服説明時間の短縮に繋がるか検証する。
2. 少ないスタッフでも効率的に業務を遂行できるかを検証する。
3. 質問用紙を使用することで患者情報を正確に把握でき、個別的な説明に繋がるか検証する。

V その他（研究期間、症例数等）

研究期間：2024年8月から2025年9月

症例数等：345名

別記第1号様式（第6条関係）

倫理審査申請書

R7年 11月 6日提出

伊勢赤十字病院

倫理委員会倫理委員長 殿

申請者 三浦 麻由



所属 看護部/3Y病棟

職名 看護師

受付番号 EP2025-119 (※事務局で記入)

所属長の印	
-------	--



1 審査対象	*何れかに○を付けてください。
1) <input checked="" type="radio"/> 実施計画	
2) 出版・公表予定原稿	(発表予定日: 年 月 日)
2 課題名	*未定の場合も「～(仮)」として記載ください。 (仮) 脳卒中における尿閉発症の傾向を調べる。
3 主任医療行為者名	氏名: 三浦 麻由 所属: 看護部/3Y病棟 職名: 看護師 副主任
4 分担医療行為者名	氏名: 田端 すみれ 所属: 看護部/3Y病棟 職名: 看護師 係長 氏名: 諸岡 恵里奈 所属: 看護部/3Y病棟 職名: 看護師 氏名: 金山 航大 所属: 看護部/3Y病棟 職名: 看護師
5 医療行為等の概要	*研究の内容についてご記載ください。 2020年～2025年に脳卒中で入院し、尿閉になった患者を病態、神経学的所見、背景など様々な視点から調査し、尿閉になりやすい傾向を知る。
6 医療行為等の対象及び実施場所	*研究対象者・データ等についてご記載ください。 2020年～2025年に3Y/SCU病棟に脳卒中で入院した患者を対象とする。

注意事項 審査対象となる実施計画書又は出版公表原稿のコピーを添付して下さい。

審査対象欄は、非該当部分を消して下さい。

7 医療行為における医学倫理的配慮について（I～IVは必ず記載のこと）

I 医療行為の対象となる個人の人権の擁護

得たデータは院外に持ち出さず、院内で厳重にパスワード付きの USB で管理する。データを目的以外に使用せず不要になったら速やかに機密データとして処分する。個人が特定できないよう匿名性を持ったデータ収集の方法で行う。

II 医療行為の対象となる者に理解を求め同意を得る方法

※いずれかを○で囲んでください。

① オプトアウト

② 書面による同意 *同意書のひな型を添付ください。

③ その他 ()

III 医療行為により生じる個人への不利益並びに危険性

患者への医療行為を行っていないため特に発生しない。

IV 予測される医学上の貢献

脳卒中における尿閉発症患者の傾向を知ることにより、あらかじめ尿閉を予防できる可能性がある。予防対策が適切に取れば患者の苦痛の軽減、導尿・服薬など医療費の削減、医療従事者の時間的労力の軽減が見込まれる。

V その他（研究期間、症例数等） *未定の場合は見込みを記入すること

研究期間：2025年11月～2026年6月（見込み）

症例数等：2020年～2025年（見込み）

¹ 患者への侵襲がなく、個人が特定されることのない方法で実施される研究については、病院 HP 上で研究名を公知し、研究への不参加の意思を病院あてに通知する窓口が整備されていることをもって、患者から同意を得たこととする制度

別記第1号様式A (第6条関係)

倫理審査申請書

2025年11月10日提出

伊勢赤十字病院

倫理委員会倫理委員長 殿

申請者 田中 源基



所属 医療技術部

職名 診療放射線技師

受付番号 FR2025-120 (※事務局で記入)



1 審査対象 症例報告 (発表予定日 2026/01/17) *発表予定日未定の場合は未定と記載
2 課題名 *未定の場合も「～(仮)」として記載ください。 Radixact を用いた全身照射の初期経験
3 症例報告実施者 氏名： 田中 源基 所属： 医療技術部 職名： 診療放射線技師
4 症例報告の概要 当院の放射線治療装置 Radixact を用いた全身照射の初期経験について情報共有を行う。
5 医療行為における医学倫理的配慮について (I～VIVは必ず記載のこと) I 医療行為の対象となる個人の人権の擁護 後ろ向きの研究であり、対象患者に対する人権の侵害は皆無である。また、住所、氏名など個人を特定するような個人情報は含まれていない。 II 医療行為の対象となる者に理解を求め同意を得る方法 ※いずれかを○で囲んでください。 ① <u>オプトアウト</u> ② 書面による同意 *同意書のひな型を添付ください。 ③ その他 () III 医療行為により生じる個人への不利益並びに危険性 研究のための特別な介入はないため、不利益並びに危険性はない。 IV 予測される医学上の貢献 研究発表を行うことにより、放射線治療技術の発展・向上への寄与できる可能性がある。 V その他 (症例数等) *未定の場合は見込みを記入すること 症例数等： 3例

注意事項 審査対象となる症例報告原稿のコピーを添付して下さい。

別記第1号様式(第6条関係)

倫理審査申請書

7年 11月 11日提出

伊勢赤十字病院

倫理委員会倫理委員長 殿

申請者 中村 真之介



所属 歯科口腔外科

職名 歯科医師

受付番号 EP2025-121 (※事務局で記入)

所属長の印



1 審査対象	*何れかに○を付けてください。
1) 実施計画	○
2) 出版・公表予定原稿	(発表予定日: 年 月 日)
2 課題名	*未定の場合も「～(仮)」として記載ください。 口腔白板症および口腔扁平苔癬、口腔がんに関する調査
3 主任医療行為者名	氏名: 中村真之介 所属: 歯科口腔外科 職名: 歯科医師
4 分担医療行為者名	氏名: 宮崎優里 所属: 歯科口腔外科 職名: 歯科医師 氏名: 下社涼佑 所属: 歯科口腔外科 職名: 歯科研修医
5 医療行為等の概要	*研究の内容についてご記載ください。 口腔白板症および口腔扁平苔癬から発生する口腔がんの動向について、過去のカルテを元に後ろ向きに調査する。
6 医療行為等の対象及び実施場所	*研究対象者・データ等についてご記載ください。 対象: 歯科口腔外科で診断した患者 実施場所: 歯科口腔外科外来

注意事項 審査対象となる実施計画書又は出版公表原稿のコピーを添付して下さい。

審査対象欄は、非該当部分を消して下さい。

7 医療行為における医学倫理的配慮について（I～Vは必ず記載のこと）

I 医療行為の対象となる個人の人権の擁護

カルテからデータを抽出する際には暗号化して個人を匿名化する。

II 医療行為の対象となる者に理解を求め同意を得る方法

※いずれかを○で囲んでください。

①オプトアウト

②書面による同意 *同意書のひな型を添付ください。

③その他 ()

III 医療行為により生じる個人への不利益並びに危険性

後ろ向き調査であるため、患者への不利益や危険性は生じない。

IV 予測される医学上の貢献

口腔白板症および口腔扁平苔癬から移行した口腔がんを把握することで、今後の診療に役立てる。

V その他（研究期間、症例数等） *未定の場合は見込みを記入すること

研究期間：2012/1～2025/3

症例数等：約 200 例

¹ 患者への侵襲がなく、個人が特定されることのない方法で実施される研究については、病院 HP 上で研究名を公知し、研究への不参加の意思を病院へては通知する窓口が整備されていることをもって、患者から同意を得たこととする制度

別記第1号様式(第6条関係)

倫理審査申請書

令和7年11月12日提出

伊勢赤十字病院

倫理委員会倫理委員長 殿

申請者 村林 桃士

所属 消化器内科

職名 副部長



受付番号 ER2025-124 (※事務局で記入)

所属長の印	
-------	--

<p>1 審査対象</p> <p>① 実施計画</p> <p>② 出版・公表予定原稿</p> <p>(発表予定日: 2026年5月頃)</p>
<p>2 課題名</p> <p>胆管狭窄を伴わない一過性胆管ドレナージにおける新型肝門部胆管狭窄用プラスチックステントの使用成績</p>
<p>3 主任医療行為者名</p> <p>氏名: 村林 桃士 所属: 消化器内科 職名: 副部長</p>
<p>4 分担医療行為者名</p> <p>氏名: 全ての消化器内科医師 所属: 消化器内科 職名: 部長・副部長・医師</p>
<p>5 医療行為等の概要</p> <p>2020年4月から2025年9月に、胆管狭窄を伴わないが一過性の胆管ドレナージを要し、ストレート型プラスチックステントを胆管に留置した症例の成績を後ろ向きに解析・検討する(詳細は別紙の学会発表の抄録を参照されたい)。</p>
<p>6 医療行為等の対象及び実施場所</p> <p>当院において2020年4月から2025年9月に、胆管狭窄を伴わないが一過性の胆管ドレナージを要し、ストレート型プラスチックステントを胆管に留置した症例。</p>

注意事項 審査対象となる実施計画書又は出版公表原稿のコピーを添付して下さい。

7 医療行為における医学倫理的配慮について（I～Vは必ず記載のこと）

I 医療行為の対象となる個人の人権の擁護

後ろ向き研究であり、対象患者に対する人権の侵害は皆無である。また、住所・氏名など個人を特定するような個人情報に含まれていない。

II 医療行為の対象となる者に理解を求め同意を得る方法

①オプトアウト

②書面による同意

③その他（ ）

III 医療行為により生じる個人への不利益並びに危険性

後ろ向き研究であり、対象患者に対する個人への不利益や危険性を生じさせる可能性は皆無である。

IV 予測される医学上の貢献

学会発表を行うことにより、医療の質の向上・発展に寄与できる可能性がある。

V その他（研究期間、症例数等）

研究期間：2020年4月～2025年9月。

症例数等：47例（最終解析での症例数等は、マイナーな変更ありうる）

どの学術集会での演題発表になるかは、最終的に変更の可能性あり

↑ 患者への侵襲がなく、個人が特定されることのない方法で実施される研究については、病院 HIP 上で研究名を公知し、研究への不参加の意思を病院あてに通知する窓口が整備されていることをもって、患者から同意を得たこととする制度

別記第1号様式（第6条関係）

倫理審査申請書

2025年 11月 7日提出

伊勢赤十字病院

倫理委員会倫理委員長 殿

申請者 木下 裕子



所属 3Y/SCU

職名 看護師

受付番号 EP2025-127 (※事務局で記入)

所属長の印	
-------	--

1 審査対象	*何れかに○を付けてください。
① 実施計画	
2) 出版・公表予定原稿	(発表予定日: 2025年10月16日)
2 課題名	*未定の場合も「～(仮)」として記載ください。 セル看護提供方式導入後の身体的拘束率の減少(仮)
3 主任医療行為者名	
氏名: 木下 裕子	所属: 3Y 職名: 看護師長
4 分担医療行為者名	
氏名:	所属: 3Y 職名: 看護師
5 医療行為等の概要	*研究の内容についてご記載ください。 当病棟では高次脳機能障害と認知症を併せ持つ患者が多く、身体的拘束患者割合 16.1%、全国平均 8.4% (2020年: 日赤全国) を上回っており課題であった。看護職の働き方改革が求められる中、当院では2024年3月に業務の効率化と看護の質向上を目的として、セル看護提供方式を導入。看護師の動線調査を実施し、セル看護方式導入前後で、看護師が患者のそばにいる状況が明確となった、更に身体的拘束患者割合低下の効果もみられたので報告する。
6 医療行為等の対象及び実施場所	*研究対象者・データ等についてご記載ください。 ・医療行為等の対象: 3Y病棟における身体拘束データ、看護師動線調査 ・実施場所: 3Y病棟

注意事項 審査対象となる実施計画書又は出版公表原稿のコピーを添付して下さい。

審査対象欄は、非該当部分を消して下さい。

7 医療行為における医学倫理的配慮について（I～VIVは必ず記載のこと）

I 医療行為の対象となる個人の人権の擁護

研究発表に使用する、看護師動線調査結果、身体的拘束データは匿名方式とする。発表に用いるデータは、院外に持ち出すこと無く、パスワード付きのUSBを利用し、発表後は破棄をする。

II 医療行為の対象となる者に理解を求め同意を得る方法

※いずれかを○で囲んでください。

① オプトアウト¹

② 書面による同意 *同意書のひな型を添付ください。

③ その他（ ）

III 医療行為により生じる個人への不利益並びに危険性

患者への医療行為を行っていないため特に発生しない。

IV 予測される医学上の貢献

セル看護提供方式にて、看護師が患者の傍でケアを実施することは、患者の安心、褥瘡発生、転倒転落の減少等医療安全面でも効果があると推測できる。

V その他（研究期間、症例数等） *未定の場合は見込みを記入すること

看護師動線調査時期 2023年9月 2024年9月

身体的高速データ 2023年1月～2025年11月

¹ 患者への侵襲がなく、個人が特定されることのない方法で実施される研究については、病院HP上で研究名を公知し、研究への不参加の意思を病院あてに通知する窓口が整備されていることをもって、患者から同意を得たこととする制度

別記第1号様式（第6条関係）

倫理審査申請書

2025年 11月 14日提出

伊勢赤十字病院

倫理委員会倫理委員長 殿

申請者 加藤 三紀也

所属 薬剤部

職名 薬剤師



受付番号 ER2025-128 (※事務局で記入)

所属長の印	
-------	--

1 審査対象 ① 実施計画 2) 出版・公表予定原稿
2 課題名 骨折リエゾンチームにおける薬剤師の介入とその影響
3 主任医療行為者名 氏名：加藤 三紀也 所属：薬剤部 職名：薬剤師
4 分担医療行為者名 氏名： 所属： 職名：
5 医療行為等の概要 骨折リエゾンチームの介入前後での骨粗鬆症治療薬導入率の変化を調査し、骨折リエゾンチームにおける薬剤師の介入内容とその影響について検討を行う。
6 医療行為等の対象及び実施場所 2016年度、2024年度の大腿骨近位部骨折で手術適応となった方を対象とする。

注意事項 審査対象となる実施計画書又は出版公表原稿のコピーを添付して下さい。

7 医療行為における医学倫理的配慮について（I～Vは必ず記載のこと）

I 医療行為の対象となる個人の人権の擁護

患者の治療状況は、電子カルテを用い後方的に調査を行い、患者は特定できないよう十分配慮した。

II 医療行為の対象となる者に理解を求め同意を得る方法

① オプトアウト¹

② 書面による同意

③ その他（ ）

III 医療行為により生じる個人への不利益並びに危険性

後方視的な調査研究であり、本調査が患者に対して不利益並びに危険性を及ぼすことはない。

IV 予測される医学上の貢献

骨折リエゾンチームにおける薬剤師の介入とその影響を調査すること業務の振り返りを行うことができる。影響を評価することで今後の薬剤師の介入をさらに充実させることができると考える。

V その他（研究期間、症例数等）

研究期間：2016年

大腿骨近位部骨折：176件

研究期間：2024年

大腿骨近位部骨折：303件

¹ 患者への侵襲がなく、個人が特定されることのない方法で実施される研究については、病院HP上で研究名を公知し、研究への不参加の意思を病院あてに通知する窓口が整備されていることをもって、患者から同意を得たこととする制度

倫理審査申請書

2025年 11月 18日提出

伊勢赤十字病院

倫理委員会倫理委員長 殿

申請者 仁儀 明納



所属 呼吸器内科

職名 医師

受付番号 FR2025-129 (※事務局で記入)

所属長の印



1 審査対象 症例報告 (発表予定日 未定) *発表予定日未定の場合は未定と記載
2 課題名 *未定の場合も「～(仮)」として記載ください。 Pembrolizumab Resposnse in pulmonary aretery Carcinosarcoma with MMR Deficiency: Precision Oncology in the Absence of Initial Germline Information
3 症例報告実施者 氏名: Akina Nigi 所属: 呼吸器 職名: 医師
4 症例報告の概要 世界的に報告のない癌肉腫の血管内伸展に対して ECMO 下で加療。家族歴から遺伝性癌が疑われるも本人の強い希望で当初は癌における遺伝子検索のみで Pembrolizumab を選択。5年の治療奏効を経てようやく germline 検査の同意を得て MLH1 陽性の Lynch 症候群の診断を得る。極めて珍しく Precsion Oncology を体現している。
5 医療行為における医学倫理的配慮について (I～VIVは必ず記載のこと) I 医療行為の対象となる個人の人権の擁護 本人が同定されないように細心の注意が払われている。 II 医療行為の対象となる者に理解を求め同意を得る方法 ※いずれかを○で囲んでください。 ①オプトアウト ②書面による同意 *同意書のひな型を添付ください。 ③その他 () III 医療行為により生じる個人への不利益並びに危険性 遺伝子結果が含まれている。 IV 予測される医学上の貢献 非常に稀な症例の治験の共有 V その他 (症例数等) *未定の場合は見込みを記入すること 症例数等: 1

注意事項 審査対象となる症例報告原稿のコピーを添付して下さい。